

1. 単元名 米づくりに挑戦しよう

2. 単元の目標

- ・ 稲の種もみまきや田植え体験、稲刈り体験、米づくりに関する調べ学習、社会科の学習を通して、生産者の努力や思いを知り、これからの米作りや菊池の農産業を守るために、自分たちにできることを考えたり、地域の素晴らしさに気づき、それを伝えたりすることができる。【知識・技能】
- ・ 米づくりの体験活動や調べ活動を通して、農業生産と消費行動や自然が密接に関わっていることに気づき、菊池のよさを伝える内容や方法を考えたり、菊池の農産業を守っていききたいという思いをもったりすることができる。【思考力・判断力・表現力】
- ・ 菊池の米づくりについてよさや課題を意欲的に調べたり、菊池の農産物のよさや自分たちにできることを伝えるための内容や方法を友達と協力して考えたり、菊池のよさを地域や他の地域に発信したりする活動を通して、自分の生き方について考えを深めることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、米づくりを通して、地域の方と関わり、米づくりについて調べ発信することで、米づくりをはじめ、農作物をつくられる地域の方の思いを知り、地域のよさに気づき愛着を深めることが期待できる。これらの学習を通して、菊池の米や農作物を広めていくために、生産者、消費者ともに環境のことを考えることが大切である。また、児童が自分たちにできることを考えることで、相手意識をもって行動する人権感覚を養うことができると考えられる。

(2) 児童観

本校は、10年程前に4つの小学校が統合した学校である。校区が広く自然豊かな地域の中に学校がある。本学級の児童は、第3学年において、校区探検学習で地域のよさに気づきはじめている。地域の農家の方をゲストティーチャーとして招いた学習では、農家の方の思いや地域で作られている農作物にも興味をもつことができている。第4学年では、校区内にある竜門ダムの見学や校区を流れる迫間川の水質調査を通して、水の利用のされ方、水の大切さについて理解、自然環境を大切さについて理解してきている。

そこで、米づくり体験に協力していただいている地域の方との関わりを通して、地域の方の思いや願い、努力や課題を知ること自分達にできることを考えることができるようにする。また、5年生や中学年で取り組みを振り返ることで、本校の5年生として周りの人々のために行動できることも考えることができるようにする。本単元を取り上げることは、地域のよさを実感し、そのよさを伝え守っていこうとする地域への愛情を育てるとともに、上級生として、自分の

ことだけでなく、周りの人のために行動する人間性を高める上で意義深いと考える。

### (3) 指導観

本単元の学習にあたっては、社会科の「米づくりのさかんな地域」の学習と関連付けるようにする。また、地域の方との米づくり体験を通して、さらに学習の理解を高めるようにする。そして、自分たちが住む地域の農業や自然への関心をもち、守っていこうという思いをもつことができるようにする。

単元の導入では、まず、昨年度の5年生の活動の様子を見せる。このことを通して、米づくりにするという見通しをもつことができるようにする。また、これまでの5年生は米の売上金を何に使っていたかを知らせ、「米づくりをして、販売した売り上げの一部を寄付したという事実から自分たちはどうしていきたいか」という課題をもって活動をはじめようとする。

米づくりの体験活動では、種もみまき、田植え、草刈り、成長の観察、稲刈り、かけ干し（一部）、脱穀（一部）を行い、米づくりの過程をできるだけ児童が体験できるようにする。地域の方との連絡を密にとり、体験活動のたびに説明、講話をしていただくとともに、児童のからの質問・感想を交えるようにする。

また、児童は、自分が住む地域の良さに気づきにくいことが考えられる。そこで、指導の際には、地域の良さを教師が示すなどして、地域を見つめるための視点を与えていく必要がある。

体験活動を通して、社会科の学習とのつながりに気づくとともに、農家の方の思いと地域の課題にから菊池の米のよさを知ってもらうために、自分たちにできることを考えようという課題を立て取り組むことができるようにする。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

有限性：日常の食卓に当たり前のように並んでいる米も生産量が減少していきっており、米作りの将来が危ぶまれている。

相互性：農業生産は、自然環境や機会など、さまざまなものと関連付けられる。

連携性：米作りは生産者だけでなく、消費者も行動を選択することが大切である。

#### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

地域の自然や産業を残すために、米の生産と消費について考える。

コミュニケーションを行う力

地域の方と一緒に活動したり、インタビューをしたり他者と意見をしたり、自分の考えを伝えたり、発信したりする。

進んで参加する態度

自分たちにできることを考え、自ら活動したり、関わろうとしたりする。

・本学習で変容を促すE S Dの価値観

世代内の公正

生産者も消費者も豊かになるような食生活や消費活動が大切であることがわかる。

幸福感を重視する

地域に愛着をもち、それらを支える人々の思いに触れ、地域の人々への感謝の気持ちをもつ。

世代間の構成

大切に受け継がれてきた産業や環境は、次の世代へ引き継いでいかなければならない。

・達成が期待されるSDG s

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 5 陸の豊かさを守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 農業生産と消費者行動や自然が密接に関わっていることや課題など、米づくりに関わる知識について理解している。 ② 学んだり、調べたりして獲得した知識を、分かりやすくまとめたり、発信したりする技能を身につけている。	① 調べたことをもとに、菊池の米作りのよさや課題を見出している。 ② 菊池の米づくりについて学んだことや考えたことを、分かりやすく発信する方法を考えている。	① 米づくりに関わる体験活動に自ら進んで参加しようとしている。 ② 米づくりについて自ら調べたり、聞いたりしようとしている。 ③ 自分たちにできることを考え、自分の生き方について深めようとしている。

5. 単元の指導計画（全40時間）

主な学習活動	学習への支援（○）	○評価 ・備考
<p>1 今までの5年生の活動の様子をみて、今後の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えをしているよ。</li> <li>・お米をふくろづめしている。</li> <li>・私もしたことがあるよ。</li> </ul> <p>2 新聞記事を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長さんに寄付している。</li> <li>・収穫した米を販売して、その売り上げ金の一部を寄付したんだ。</li> </ul>	<p>○活動のおおまかな見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○これまでの売上金の使い方を確認し、昨年度の5年生の意図を確認する。</p> <p>○今の段階での児童の意図を書かせる。</p>	<p>イ① (思判表)</p>
<p>米づくりを通して自分たちにできることをしよう。</p>		
<p>3 地域の方と一緒に米づくり体験をする。</p> <p><b>【種もみまき】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種をまくまでの準備もあるんだ。</li> </ul> <p><b>【田植え】</b>手で植えるのは大変だ。</p> <p><b>【草刈り、観察】</b>水の管理が大切なんだ。</p> <p><b>【稲かり】</b>今は機械で行っているんだ。</p> <p><b>【かけ干し】</b>どれくらい干すのだろう。</p> <p><b>【脱穀】</b>とても大変な作業があるんだな。</p>	<p>○地域の方との連絡を密にとる。</p> <p>○一緒に活動をしながらか、それぞれの作業の中で大切なことを助言していただくようにする。</p> <p>○毎回体験後に、感想・質問・振り返りをして、地域の方との交流の機会を設ける。</p> <p>○地域の方には、生産者の思い、願いを語っていただくよう依頼する。</p>	<p>ウ① (主体的) ア① (知・技)</p>
<p>4 米づくりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田おこし、代かきなどいろいろな工程があるんだ。</li> <li>・今は、機械化が進んでいる。</li> <li>・品種改良でいろいろな種類の米がある。</li> <li>・消費量が減っている。</li> <li>・農業協同組合の人も協力している。</li> <li>・地産地消も大切だ。</li> <li>・がい虫対策もしなければならない。</li> <li>・農業従事者が減っている。</li> </ul>	<p>○社会科の学習と関連づける。</p> <p>○調べる方法や内容を事前に出し合い、目的をもって調べ活動に取り組む。</p> <p>○米づくりの工夫、進化とともに、課題があることに気づかせる。</p> <p>○調べたことを伝え合い、(グループごとの発表)感想交流をする中で今後の活動につなげる。</p>	<p>ア① (知・技) ウ② (主体的)</p>
<p>収穫した米をどうするか考えよう。</p>		

<p>5 収穫した米をどうするか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちも食べたい。</li> <li>・まずは、菊池北小の人においしさを伝えよう。</li> <li>・保護者の人にも食べてもらおう。</li> <li>・販売しよう。</li> <li>・インターネットも活用したい。</li> <li>・米のよさを宣伝するといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの取り組みを通して(消費量の減少、地産地消)との取り組みにつなげていく。</li> <li>○給食センターとの連携、保護者への啓発</li> <li>○学校ホームページの活用</li> <li>○地域行事への参加、宣伝(地域学校協働活動との連携)</li> </ul>	<p>イ② (思判表)</p>
<p>6 米の販売に向けて準備し、販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・袋詰め、パッケージ作り</li> <li>・チラシ作り、ポスター作り</li> <li>・学校ホームページのデータ作り</li> <li>・地域の行事(収穫祭)の販売準備、看板作り、当番等の役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○販売することが目的にならないよう、販売の意図、目的をもつことができるように助言する。</li> <li>○地域、他機関との連絡を密にとり、交流活動も取り入れていく。</li> </ul>	<p>ア① (知・技) イ② (思判表) ウ② (主体的)</p>
<p>7 これからできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義援金を送りたい。</li> <li>・次の5年生のために、何か残したい。</li> <li>・勝手いただいた方にお礼をしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度までの5年生にインタビューすることで、自分をみつめ、社会をみつめることができるようにする。</li> </ul>	<p>イ① (思判表) ウ③ (主体的)</p>